サポート情報記事

構成済みの QR コードを SharePoint ページで公開する

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

はじめに 4

ページと一緒に保存される内容 4

コードの準備と発行 4

訪問者に表示される内容 5

発行済みのコードの変更 6

設定の再利用 7

まとめ 7

はじめに

QR Code Generator は、コードを作成して持ち出すだけのツールではありません。Web パーツの構成はページと一緒に保存されるため、ページそのものに完成した QR コードを掲載できます。たとえば、会議室のページにゲスト用 Wi-Fi、ヘルプデスクの連絡先カード、イベントのページに登録フォームへのリンクを掲載できます。この記事では、保存される内容、用意したコードを公開する方法、ページの訪問者がそのコードでできることについて説明します。

ページと一緒に保存される内容

ページの編集中は、Web パーツでのすべての変更がその構成に書き込まれます。

- 選択したデータ タブと、選択したタブだけでなく**すべての**タブのフィールドの値。
- デザイン: **図形**、グラデーションを含む**色**、**コーナーの四角**、**コーナーのドット**。
- ロゴと、その**ロゴサイズ**および**ロゴの余白**。
- **誤り訂正**のレベルと、ダウンロードする画像の**サイズ**。
- Web パーツのタイトル。

構成は、ページを保存または発行した時点で確定します。

> **メモ**
>
> ページと一緒に構成を保存する機能は、バージョン 26.9.1 以降で使用できます。それより前のバージョンでは、Web パーツは毎回既定の設定で開きます。

コードの準備と発行

1 ページを開き、**編集** をクリックします。
2 **QR Code Generator** Web パーツを追加するか、すでにページにあるものを使用します。
3 タブを選択し、データを入力します。たとえばゲスト ネットワークの場合は、**Wi-Fi** タブを開き、**ネットワーク**、**パスワード**、**暗号化**を入力します。
4 タブの下にあるセクションでデザインを設定し、必要に応じてロゴをアップロードします。
5 ジェネレーターの上にある **Web パーツのタイトル** プレースホルダーに見出しを

入力し、コードの用途が訪問者にわかるようにします (例: ゲスト *Wi-Fi* - スキャンして接続)。

6 スマートフォンでプレビューを読み取り、コードが機能することを確認します。

7 再発行 (新しいページの場合は 発行) をクリックします。



編集モードのページでゲスト Wi-Fi のコードを準備する

ヒント

発行する前に、使用しないタブのフィールドをクリアしてください。これらの値もページと一緒に保存され、そのタブに切り替えたユーザー全員に表示されます。

訪問者に表示される内容

発行されたページを開いた訪問者には、用意したタブが選択され、プレビューに QR コードが表示された Web パーツが表示され、画面からそのまま読み取ることができます。操作は必要ありません。

Web パーツは、訪問者にとっても引き続きジェネレーターとして機能します。タブ、フィールド、デザイン セクションはそのまま使用できるため、訪問者は次の

ことができます。

- 用意されたコードを読み取る、コピーする、または任意の形式でダウンロードする。
- データやデザインを変更して、自分用のコードを作成する。

訪問者が行った変更は、ページを再読み込みするまで、その訪問者のブラウザーの中にだけ存在します。変更は保存されず、他のユーザーには表示されません。再読み込みすると、Web パーツは発行された構成に戻ります。



訪問者に表示される発行済みのページ

警告

Web パーツには、コードだけを表示するモードはありません。エンコードされたデータを含むフィールドは常にコードの横に表示され、保存された構成はプレーン テキストとしてページに格納されます。ページを開くことができるユーザーは誰でも、Wi-Fi のパスワードを含め、エンコードされた内容をすべて読み取ることができます。機密性の高いデータは、アクセス許可がコードの対象ユーザーと一致しているページでのみ公開してください。

発行済みのコードの変更

1 ページを開き、**編集** をクリックします。
2 Web パーツでデータまたはデザインを変更します。
3 **再発行** をクリックします。

ページを再発行するまで、訪問者には以前のコードが表示され続けます。編集モードを終了しても、変更が破棄されるとは限りません。SharePoint が下書きを自

動保存する場合があります。編集を再開する前に、下書きまたはバージョン履歴を確認してください。

メモ

QR コードに含まれているのはデータそのものであり、Web パーツへの参照ではありません。変更前に印刷または送信されたコードには、古いデータが残ります。パスワードやリンクを変更した場合は、印刷したコードを差し替えてください。

設定の再利用

構成は Web パーツのインスタンスに属しているため、用意したデザインを再利用する方法がいくつかあります。

- **1 つのページに複数のコード。** Web パーツを複数回追加します。各インスタンスは、それぞれ独自のデータとデザインを保持します。
- **ページのコピー。** ページのコマンド バーにある **このページのコピー** を使用します。コピーには同じ構成の Web パーツが含まれるので、データだけを変更します。
- **ページ テンプレート。** デザイン済みの Web パーツを含むページをテンプレートとして保存すると、そのテンプレートから作成するすべての新しいページが、コードの企業デザインが設定された状態で始まります。

まとめ

ページの編集中に QR Code Generator で設定した内容はすべて、ページの発行時に保存され、訪問者には用意したコードがすぐに表示されます。訪問者は引き続きジェネレーターを自分用に使用できますが、発行される内容を変更できるのはページの編集者だけです。保存されたデータは、ページにアクセスできるすべてのユーザーが読み取れることに注意してください。

ヒント

各タブのフィールドについては KB10264. QR コードのデータの種類: URL、テキスト、vCard、Wi-Fi、電子メール、SMS、電話、場所、イベントで、コードをページの外に取り出す方法については KB10268. QR コードのダウンロードとコピー: PNG、JPEG、SVG、WebPで説明しています。